

梅木 加津子 議員



一括質問方式

- ①危機管理
- ②大洲市建設残土処理場管理条例の制定案
- ③地域公共交通網形成計画案
- ④子育て支援
- ⑤障がいを持つ方が安心して生活できる街
- ⑥小・中学校の教育水準を守る

危機管理について

**問** 大洲市地域強靱化計画案が出された。大規模災害に対応する計画とあるが、1、2月に降った雪程度で市民生活が麻痺しないよう経験を生かすことが大切だと思う。担当部署が違っても部署を横断し指示を出せる体制の具体化や、四国電力やN・Tなど情報伝達、市民の皆さんへの広報周知などが必要と思うが、本市の考えをお聞きます。

出せる体制の具体化や、四国電力やN・Tなどと情報の伝達、市民の皆さんへの広報周知などが必要と思うが、本市の考えをお聞きます。

**答** 1月の積雪で孤立状態になった地域があったことや、2月には過去最低気温を更新した寒気により、水道管が破裂し断水状態となったことを踏まえ、全ての自治会から除雪・給水の方法や停電時の情報発信などのご意見を伺ったところで、また、四国電力やN・T等とも

今回の大雪に対する対応の検証協議を進め、行政への情報伝達方法や市民への情報発信がより細やかとなるよう協力依頼をしています。今後、被害が山間部に集中するような事態に対し、市民生活への支障が最小限となるよう関係機関との連携体制や市町への応援体制などを整備していきたいと考えています。

大洲市建設残土処理場管理条例の制定案について

**問** 先日、久米公民館で説明会が行われ、ダンプが走ることや、下谷川の流量が増え水害の原因になるので

はなどの不安の声があった。ダンプが走る地域の自治会などに十分説明をしてほしいとの声もあるが、市民の皆さんによくわかる説明を求めます。

**答** 2月20日に久米地区全体で説明会を開催し、住民の方からダンプが通行することに対する安全対策等の要望が出されています。

3月中には、残土処理場への搬入路となる久米地区只越1区でも説明会を開催し、事業の周知を図り事業に対するご意見を伺い、できる限り市民の皆様が安心できる対策を取っていきたくと考えています。さらに、西日本高速道路(株)による残土運搬の受注者が決定し、搬入経路が確定しましたら、通学路となる小中学校及び高校に周知し、搬入を開始する前には再度説明会や広報等で広く周知を図りたいと考えています。

子育て支援について

**問** 少子化や子供の貧困が言われる中で、子供を安心して育てたいとの思いは切実である。全ての小中学校のお子さんを対象に、通院医療費を無料化したら6,600万円か

かると言われたが、現時点では、いくらで無料化できるのか。国保の乳幼児医療の無料化をすると、国がかけてくるペナルティー300万円もなくなる。本市の未来に投資するために、また市民の皆さんの暮らしを応援するために、全ての小中学校の子どもさんの通院医療費を無料にしていくべきと思うがどうか。

**答** 子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子供を増やしたいという考えのもと、子ども医療費助成の拡充について様々な観点から検討し、現在第3子以降の小中学生のお子様について通院医療費の助成を実施しています。全ての小中学生の通院医療費を無料とした場合の費用については、国民健康保険にかかる国庫負担金の減額調整額約300万円を含め、市の実質的な負担は約4,800万円と見込んでいます。全ての小中学生の医療費無料化については、他の事業における財政負担の問題、また他の子育て支援事業との整合性や優位性など、あらゆる観点から総合的に勘案し、判断していきたく考えています。